

< 記 載 例 >

別紙様式 1-1

令和 年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）に係る収支改善計画 報告表 （策定・振り返り）

路線の概要	系統名	○○○○線		起 点	○○○○	終 点	○○○○	路線の維持目的				関係する地域内フィーダー系統 ①○○○○線（○○～○○） ②○○○○線（○○～○○）		
	事業者名	○○○○バス(株)		経 由 地 ○○○○、○○○○、○○○○										
	関係市町村	○○○、○○○、○○○、○○○												
路線補助の運実績等	補助年度	補 助 金 額 (千円)	(国)	(道)	キロ当り 経常費用 (円)	地域標準 経常費用 (円)	キロ当り 経常収益 (円)	1日当り 運行回数 (回)	輸送人員 (人)	平 均 乗車密度 (人)	経 常 収 支 率 (%)	算定基準の該当 収支率見なし (○×) 回数	市 町 村 負 担 額 (千円)	備 考
	(前々年度)													
	(前年度)													
	(当該年度)													

【記載方法・記載例】

◎標題（表の名称）

- ・ カッコ内は、収支改善計画策定の際は「策定」を、振り返りの際は「振り返り」を丸で囲むこと。

◎路線の概要－路線の維持目的

- ・ ○○市中心部と○○町、○○町○○地区を結ぶ系統で、通院、通学、買い物のために利用されている。
- ・ ○○駅と○○方面の各市町村を結び、主として○○市内の高校への通学のために利用されている。
- ・ ○○地域と○○市○○地区を結び、沿線住民の○○地区大型商業地域と○○病院への買い物・通院のために利用されている。

◎路線の運行状況（補助実績等）

○各年度の「補助金額」～「算定基準の該当」

- ・ 計画申請（計画を変更した場合は変更後の申請）に基づき記入すること。

○各年度の「市町村負担額」

- ・ 補助対象期間終了後の振り返りにおいて、当該系統の維持のために関係市町村が実際に負担した額（車両購入費に対する補助は含まない）の合計額を記入すること（計画申請書の市町村負担額と異なっても構わない）。
- ・ 市町村が主宰する協議会等が負担している場合は、市町村及び当該協議会等が負担した額の合計額を記入し、備考欄にその旨記載すること。
～ 「○○○○活性化協議会が負担」、「市町村△△千円、○○○○活性化協議会▽▽千円」
- ・ 市町村や市町村が主宰する協議会等以外も負担している場合は、市町村や当該協議会等の負担額を記入するとともに、備考欄に他の団体が負担している旨記入すること。
～ 「関係市町村以外に○○○○（団体名）の負担あり」

収支改善に向けた検討内容	項 目	現 状	当該年度における取組の具体的内容	取 組 結 果 (必要に応じ翌年度の取組予定) ※未実施場合、理由と今後の対応方針を記載
収入の増加	①運行ルートの見直し ・他系統との再編・統合等	※運行状況に基づく現状分析、取組の可能性を記載 有：〇〇(起点)と△△地区を結ぶ▽▽線が近接 経由地の〇〇までは△△線が運行 △△～▽▽の利用者が少ない。 無：市街地部分を除き、他の系統は運行していない	※取組主体を明記 ・沿線市町村と協力し、住民に対する意向調査を実施する(〇月) ・〇〇町が、△△～▽▽間の廃止(◇◇線との再編)に向けた住民説明を実施する ※取組の余地が無い場合、その理由を記載	取組結果(必要に応じ翌年度の取組予定) ※未実施場合、理由と今後の対応方針を記載 ・〇月に住民アンケート、△月に利用実態調査を実施 ▲年度は、沿線市町村と(公共交通会議において)具体的方策を検討する予定 ・◇月に、・・・会議を開催し検討。・・・することとした ・～のため調査未実施、▲年度に実施予定
	②運行方法の改善 ・運行回数 ・ダイヤ(乗継ぎ、時間帯、バス停)等	有：1日9回運行、乗車密度が3.5人 〇〇ターミナルの乗継ぎ(時間・バス停位置)について、～のため改善の余地有り 20時過ぎの利用者が少ない 無：乗車密度が6.5人と一定の利用者が確保されており、利用者の利便性確保のために1日5回の運行を維持する必要がある ダイヤは、2年毎に見直しを実施	・運行回数(ダイヤ)について、沿線市町村と検討する ・J R 駅のバス停の移動について、J R 北海道と調整する ・定期的(2年毎)にダイヤの見直しを実施しているため、次回は▲年度に見直し予定 ・通勤(通学)利用者のため、20時過ぎの便が必要である(が、便数の見直しを〇〇町と検討する) ※取組の余地が無い場合、その理由を記載	・運行回数の見直しについて、〇〇線沿線自治体会議で調査結果を分析・検討した(開催3回) ・調査結果に基づき〇〇の実施について関係機関と協議、▲年度には具体的な運行方法を検討する予定 ・検討結果を踏まえ、△年▽月から運行回数を〇〇回に減回(〇〇～◇◇の区間を短縮)した(する予定) ・〇〇の取組は、～のため、実施しなかった(▲年度にさらに検討する)
	③利用促進 ・住民理解 ・普及・P R ・助成制度 等	※以下のような取組について、記載する。 ・〇〇町が、高齢者向け助成券(年間 回)を発行 ・毎年、沿線市町村の広報誌により啓発 ・〇〇町と共同で、毎月1回「ノーマイカーデー」を設定、ポスター・チラシによりP Rを実施 ・公共交通の経路検索サイトにおいて、バス運行情報の充実を図る。	・新たに、〇〇の取組を△△町と協力して実施予定 ・事業者と〇〇町が合同で、利用促進と意向把握のための住民説明会を実施する(△月) ・〇〇の取組を継続して実施する ・現在〇〇社にバス運行情報を提供しており、今年度新たに〇〇社へ情報提供を実施する。	・〇月に△△を実施した(▲年度以降も実施予定) ・効果が小さいことから●年度をもって廃止することとした(～のため、事業を中止した) ・〇〇社へバス運行情報の提供を実施した。
費用削減	④削減・節約・効率化等	※上記以外の費用削減方を記載 運行費、車両等設備費、管理費等について実施している削減・節約等の取組を記載	※左記以外の取組予定、及び継続して取り組む場合はその内容を記載	※取組状況を記載
路線の維持必要性	⑤輸送手段の適合性 ・バス運行及び他の輸送手段の検討等	・1日当たり輸送量：15.2人 沿線住民の減少のため利用者が毎年減少し、今後も利用者の増加が見込めない。 ・運行回数4回、平均乗車密度2.5人 平均乗車密度が5人を大きく下回っており、運行回数を3回にしても、5人まで回復の見込みがない。 ・運行回数4回、平均乗車密度が5.5人 平均乗車密度が年々下がり、回復の見通しが無く、見なし回数カットが生じるおそれがある ・収支率〇〇% △年度の▽▽の廃止の影響により収支率が下がっており、現状のままでは継続運行が困難 ・輸送量(〇人/日)、平均乗車密度(人) 民家が散在しバス停までの距離が遠く、定路運行のままの利用者の増加は難しい ・輸送量(〇人/日)、平均乗車密度(△人) ◇年から、△△市(▽▽商業地区)の通院送迎バス(買い物バス)が、の開始により、利用者の減少が著しい	・利用者数の回復が難しく、数年後には、輸送量が補助要件を下回る可能性があることから、他の輸送手段(コミバス、デマンド化、乗合タクシー・・・)について、●年度中に、地域公共交通会議で検討する(関係機関による協議会を設置する) ・収支率の悪化により補助金カットの発生が予想されるが、当面はバス運行を継続し、●年度に、カット分の自治体の負担方法について協議を行う ・デマンド化(乗合タクシー導入)に向け、●年度に協議会を住民や関係機関に対する(〇年〇月から実証運行を実施予定) ・今後の運行方法の改善や他の移動手段の導入の検討のため、●年度は、〇〇町と△△町において、実態調査と住民意向調査を実施する。 ・〇〇地区の学校統合に合わせて、〇〇～△△間のスクールバスへの一般混乗(当該区間の短縮)について検討する(予定時期は●年4月) ・●年度中に、関係機関による検討会議を設置し、補助系統や通院バス(買い物バス)を含む交通体系のあり方について検討を行う	・〇年〇月に調査を実施した(▲年度に、△△について具体的方策な検討を行う予定) ・〇年〇月に△△協議会を設置した 協議の結果、▽▽～◇◇間については、▲年度に、デマンド化(乗合タクシー導入)の検討を行う予定 ・協議の結果、当面は関係自治体が国と道補助分を除く欠損を補填して維持することとし、事業者と関係市町村が協力して利用促進を図ることとした ・〇年〇月～〇月に、△△地区のデマンド運行(乗合タクシー)の実証運行を実施した ・▼年度に関係機関の協議において、当面は補助系統として維持することを確認したところ 今後の収支の見通しと、市町村負担の推移を踏まえて、必要に応じて関係機関で協議する ・〇〇協議会において、実態調査等に基づき▼年度に実施したシミュレーションの結果、当面は、大幅な収支悪化が予想されないことから、現行のまま維持することとし、3年後に再検討することとした ・〇年〇月から、△△△の導入により補助系統を廃止予定

「振り返り」の際に記入

<p>利益 用見 者反 等映 の</p>	<p>◎計画作成に当たり実施した市町村、事業者及び協議会(会議)等による意見反映の方法(複数市町村の取組を含む)</p>	<p><input type="checkbox"/> 生活交通確保に係る協議会等 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> ヒアリング、公聴会 <input type="checkbox"/> パブリックコメント <input checked="" type="checkbox"/> 市町村等が行う会議等 <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>【内容・実施日・対象者】 ○○地域公共交通会議(○○線協議会、○○会議) 実施者：○○町(○○町・○○バス) 開催日：○年○月○日 対象者：町内会連合会、商工会、消費者団体、教育委員会等</p> <p>○○に関するアンケート調査 実施者：○○町(沿線自治体と○○バスの共同) 開催日：○年○月 対象者：○○町住民(○○地区住民、○○町沿線関係団体)バス利用者(調査票配布、聞き取り)</p> <p>○○町政策懇談会 実施者：○○町 開催日：○年○月～○月(町内全域・地区別) 対象者：町民(企業、各種団体)</p> <p>○○町町内会連合会 実施者：○○町内会連合会(役場から概要説明と意見聴取) 開催日：○年○月○日 対象者：各町内会代表者</p>	<p>【計画への反映等】 ※計画の内容に反映した場合、記載すること。 (路線維持のため方策等について、方針や取組等が決定された場合も参考に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○会議での協議の結果、△△～▽▽間の経路短縮することとした(○年○月実施) ・○○の利便性の向上のため、△△を経由するルートに変更(登校時間の便を学校経由に変更)することについて、関係機関と協議することとした ・利用者の減少に伴う効率的運行のため、○年○月から、△△～▽▽間を短縮(運行回数を減回、バス停を変更)することを決定した ・○○会議において、▲年度に検討会を設置すること(△△を対象とするアンケートの実施)を決定した ・○○線(地域間幹線)と△△線(道単、フィーダー系統)の乗継ぎの向上のため、○○線(△△線)の起点を変更(バス停を移動)することについて、関係機関と調整することとした
<p>検 討 状 況</p>	<p>【計画策定に関わった市町村名及び担当部署名】 ○○市○○部○○課、△△町△△課△△室、▽▽村▽▽課</p> <p>【地域協議会コメント】(○年○月) ・○○の取組を継続して実施するほか、△△の取組の強化(新規着手)による収支改善の充実により、さらに効率的運行と輸送人員の増加に努め、路線維持を図ること。 ・▽▽の実施に当たっては、効果的な実施に向け、関係自治体と事業者が十分に協議し、協力して取り組む必要がある。</p>	<p>【事業者、市町村による振り返り】(○年○月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画した取組は概ね実施されたが、未実施(取組が不十分な)の○○については、方法を見直し▲年度の実施を検討。 ・取組は実施できたが、○○については、内容を見直し見直したうえで、継続して取り組む。 ・概ね計画どおり取組を実施できたが、○○については不十分な面があったため、内容を見直しより効果のあがる方法により継続して実施する(実施できなかったため、関係機関が協議し、次年度の実施を検討する)。 ・△△の取組については、一定の効果が認められたため、関係機関により内容を見直して実施する(範囲を拡大した取組とする、隔年毎の実施に向け関係機関で協議する)。 ・概ね計画どおり取組を実施し、一定の収支改善効果があったと判断されるが、利用者の増加には結びついていない。 <p>【地域協議会による振り返り】(○年○月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおりの取組を実施できたが、○○については、より効果的な取組となるよう関係機関が十分に協議して取り組む必要がある。 ・概ね計画どおりの取組を実施できているが、関係機関協力のもとで継続的な実施が望まれる。 ・近年、住民や利用者の意向把握が実施されていないため、取組に向けた検討を要する。 		

「振り返り」の際に記入